

愛知県神社庁主催 ぼくと私の神社ウォッチング

県神社庁（小串和夫庁長）は8月17日・18日、静岡県富士宮市にて、恒例の「ぼくと私の神社ウォッチング」を開催した。県内の神職子弟など107名が参加しました。



本事業は次代を担う子供たちの健全育成を目的に毎年夏休みの時期に行っており、神職子弟や氏子崇敬者の子供たちが参加しています。本年は、「日本一の富士山を見に行こう」と題し、富士山本宮浅間大社を中心に神社参拝と様々な体験学習を行いました。

初日午前、各地からバスで富士山本宮浅間大社（中村徳彦宮司）に集結、正式参拝。児童代表が玉串奉奠の後、結団式。小串和夫庁長、中村徳彦宮司、三浦正典愛知県神社庁教化委員長があいさつ。小串庁長は参加の子供たちへ「この2日間のさまざまな体験を通し、自然の恵み、自然のありがたさ、自然の荒々しさを感じ取って下さい」と語りかけました。

閉式後、神社参集所へ移動、スタッフの前導により元気に食前感謝・食後感謝を行い昼食。昼食後は富士山5合目に向かい、1時間程かけて宝永火口へのハイキングを行いました。ふもとの天気は深い霧と雨とで危ぶまれましたが、バスが5合目に到着すると現地は青空、山腹を30分程歩いて雄大な宝永火口に達すると子供たちの口から歓声が発せられました。下山夕食の後、神社境内にて地元の伝統芸能である静岡県指定民俗文化財富士宮囃子の観賞・体験学習を行いました。地元、富士宮囃子保存会の協力で、祭りさながらの実演演奏を観賞の後、交替で太鼓バチを握り保存会の方々の指導のもと、演奏体験を行いました。



翌朝は、浅間大社境内の湧玉池で禊を体験。道彦の先導により、鳥船行事を行った後、夏冬変わらない水温13度の池に入り、初めての禊を体験しました。朝食を採った後、朝の参拝。拝殿にて甲田吉孝権宮司の富士山に対する信仰についての講話を拝聴、その後、班に分かれて職員による境内説明を受けました。境内を巡りながら、浅間造りの社殿のこと、境内に生ふる桜などの植物、拝殿横にある南極の石のいわれ等の話を聞きました。その後、富士山こどもの国に移動、半日を同園地ですごした後、夕刻、思い出を胸に帰路につきました。